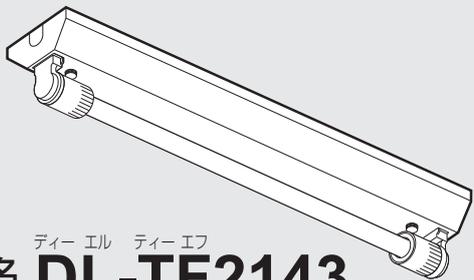


SHARP®

直管LED照明器具(防湿・防雨型)

工事説明書および取扱説明書



ディー エル ティー エフ
形名 **DL-TF2143**

適合ランプ 直管LEDランプ(LDL20T*)

- * (一社)日本電球工業会規格(JEL801)に基づく形式表示
- ランプは別売です。
シャープ製LEDランプもしくは同等品を使用ください。
管径・口金形状が異なると防水性能が損なわれ落下、感電、火災の原因となります。

お客様へ

- この器具の施工には電気工事士の資格が必要です。
取付工事は必ず電気工事店に依頼してください。
- 一般の方の工事は法律で禁じられています。

工事店様へ

- 工事が終了しましたら、本説明書は、必ずお客様へお渡しください。

ご購入いただき、まことにありがとうございます。
本説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
本説明書は、いつでも見ることが出来る所に必ず保存してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産への損害を防ぐため、
お守りいただくことを説明しています。

- 誤った使いかたで生じる内容を、
次のように区分して説明しています。

 **警告** 「死亡または重傷を負うおそれがある」
内容。

 **注意** 「軽傷を負う、または財産に損害を
受けるおそれがある」内容。

- お守りいただく内容の種類を、
次の図記号で説明しています。

 してはいけないこと。

 しなければならないこと。

警告

-  ● 器具を布や紙などの可燃物で覆ったり、被せたり、燃えやすいものを近づけない。(火災の原因)
- 被照射物と器具は50cm以下に近づけない。
とくに絹、皮、布地など「色落ち」のおそれがある物に照射する場合は注意が必要。(被照射物の火災・変色・褪色の原因)
- 器具を改造したり、部品を変更して使うことは絶対にやめる。
(器具落下・感電・火災の原因)
- 工事、修理のとき以外は分解しない。
(器具落下・感電・火災の原因)
- 器具に他の加重をかけない。(落下・感電・焼損の原因)
- 器具のすき間に針金などを巻き込まない。
(けがや感電・火災の原因)
- ランプが破損した状態で使用しない。
(落下・感電・火災の原因)

-  ● この器具は、アンカーボルト吊り下げ器具です。
(指定以外の取り付けをおこなう場合は、必ず設置面の強度を確認すること)
- 取り付けは、お買いあげの販売店、または専門業者に依頼する。
(一般の方の工事は法律で禁じられています)
- お手入れの際は、必ず電源を切る。(感電の原因)
- 煙、臭いなどの異常を感じたら、すぐに電源を切る。
(感電・火災の原因)
工事店、お買いあげの販売店にご相談ください。
- 器具の取り付けは、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」、および本説明書にしたがう。
(取り付けに不備があると器具落下・感電・火災の原因)
- 取付方向は、本説明書にしたがって正しく施工する。
(感電・火災・ケガの原因)
- 交流電源をご使用ください。電源周波数は50Hz、60Hz
共用です。電源電圧は、器具銘板または本説明書に記載されている電圧±10%内で使う。
(間違っているとLED電源ユニット、器具などの短寿命・火災の原因)
- 必ずランプを取り付けた状態で電源を入れてください。
(ランプを取り付けていないと、雨水が浸入し、感電・故障の原因)

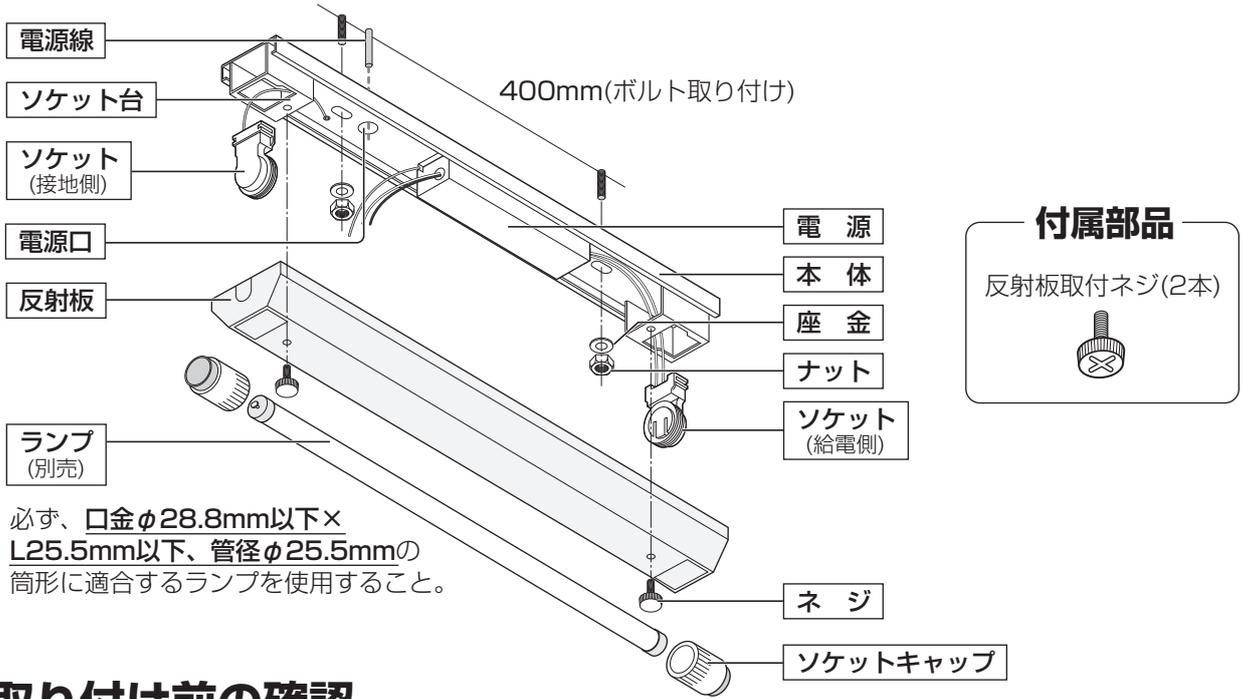
注意

-  ● 器具の一部が破損したまま使わない。(落下・ケガの原因)
- 器具の下にストーブ、コンロなどの発熱物を置かない。
(火災・落下・器具の変形・LED短寿命の原因)
- 器具を洗剤や薬品などで拭いたり、殺虫剤をかけたりしない。
(器具の破損・落下・感電などの原因)
- LED点灯時、および消灯直後は器具に触れない。
(高温のため、火傷の原因)
- この器具は、軒下などの雨線内の屋側でご使用にできません。
雨の吹き込みを直接受ける場所、直射日光の当たる場所、
振動のある場所、腐食性ガスの発生する場所では使わない。
(感電・落下・絶縁不良の原因)
- 器具を密閉した空間に設置しない。(発熱・LED短寿命の原因)
- 濡れた手で器具を取り扱わない。(感電・故障の原因)
- 器具の背面より雨や風を受けるような取り付けはしない。
(落下・感電の原因)

-  ● 周囲温度は、5~35℃の範囲で使用するよう設計しています。
(高温で使用すると火災・LED短寿命の原因)
- 必ずGX16t-5口金付直管LEDランプをご使用ください。
(落下・感電・火災の原因)
- ランプ交換は、電源を切ってからおこなう。
(感電・故障の原因)

器具の取付方法

各部のなまえ



1

取り付け前の確認

- 器具とランプの質量(1.7kg)に十分に耐えられるよう、ボルト取付部の強度および天井材の強度を確保する。取付ボルトは、W3/8、またはM10を使用する。
- ボルトは極端な斜め出しにならないこと。

2

本体の取り付け

- ① 電源線を本体の電源口穴から引き込んでおく。
- ② 本体を取付ボルトに確実に取り付ける。(推奨トルク値1.5N・m)

ご注意

- 内部配線を傷つけない。
- 器具内の線を座金やナットなどで挟み込まない。(器具の落下・感電の原因になります)

3

電源線・アース線の接続

- D種(第3種)接地工事が必要です。
- ① 電源線と本体の内部配線を確実に接続する。
 - ② 接続部の絶縁、防水処理を確実にこころう。

ご注意

- 接続、保護が不完全な場合、感電・火災の原因になります。
- 内部配線(N線、L線)の先端は半田仕上げ処理をおこなっているため、電源線と内部配線を圧着端子にて接続する場合は、半田部をカットしてから、加工処理してください。

内部配線

- 黄/緑：アース線
- 白：電源入力N線
- 黒：電源入力L線

ご注意

くぐらせる

4

ソケットの取り付け

- ソケットを取付溝に添って、奥まで確実に取り付ける。

ご注意

- 取り付けが不完全な場合、ランプの落下・反りの原因になります。

ソケット取付口
取付溝
ソケット

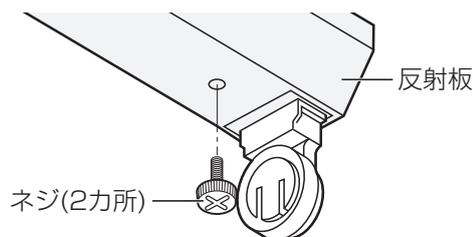
奥まで確実に取り付ける

反射板の取り付け

- 反射板をネジ(2カ所)で確実に取り付ける。

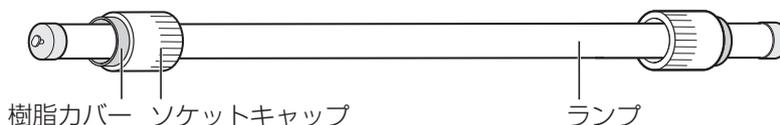
ご注意

- 取り付けが不完全な場合、反射板落下の原因になります。



ランプの取り付け

- ① ランプ両端から、ソケットキャップを取り付ける。

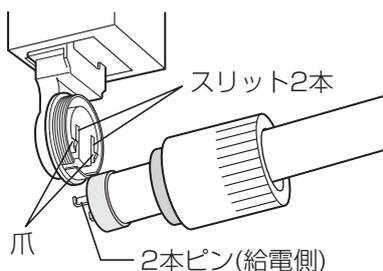


ご注意

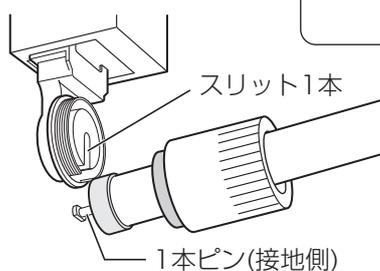
- ソケットキャップには、内部に樹脂カバーが付いていますので、取り付け前に確認ください。

- ② スリットが2本あるソケットにランプ2本ピン側(給電側)を取り付ける。他方のソケットにランプ1本ピン側(接地側)を取り付ける。

給電側(2本ピン)

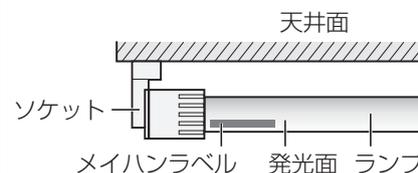


接地側(1本ピン)

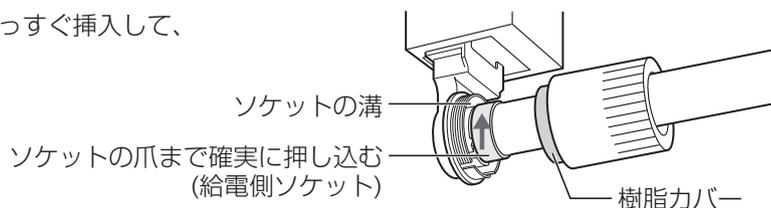


ランプに方向性があります

メイハンラベルが貼り付けられている側が発光側です。

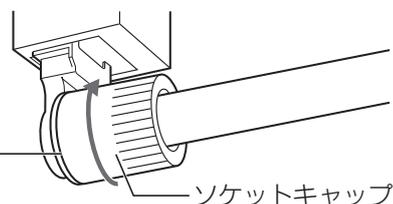


- ③ ランプをソケットの奥までまっすぐ挿入して、確実に取り付ける。



- ④ ソケットキャップが傾かないように、水平にして回転させ、樹脂カバーがソケットの溝に入るようにして、確実に締め込む。

スキマが発生しないよう
まっすぐ奥まで締め付ける



ご注意

- ランプをソケットに取り付ける際に、ランプは回転させないでください。ランプや器具破損の原因になります。(本器具に使用している防水ソケットは、ランプを回転させて取り付ける機構ではありません)
- ソケットキャップとソケットにスキマが出ないように、締め付けてください。(中途半端な締め付け、斜め締め付けをしない)
- 取り付けが不完全な場合、ランプの落下や防水性能が損なわれ、絶縁不良または感電の原因になります。

ランプの交換について

- 指定のシャープ製LEDランプを使用することを推奨します。他のLEDランプを使用すると、本来の性能が得られない場合があります。また、必ず適合するサイズ(各径)のランプをお使いください。
- ランプ交換は、必ず電源を切ってからおこなってください。(感電・故障の原因)

お願い

- 温度の影響により、器具から若干の収縮／膨張によるキシミ音がすることがありますが、異常ではありません。
- LED光源にはバラツキがあるため、同一形名商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合がありますが、異常ではありません。
- 照射距離が近い場合や照射面などによって光ムラが気になる場合がありますのでご了承ください。
- 喫煙による煙や、ほこりの多い場所では、気流により器具の周りに汚れが集中することがあります。器具の明るさを保つためには、反射板の定期的な清掃をおすすめします。
- ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は、照明器具から離してご使用ください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
- 同時通訳などの誘導無線をご使用になる場合、雑音が入ることがあります。
- 安全上、LED光源を直視することはおやめください。



安全に関するご注意

- 照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検、交換をおすすめします。
* 使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。
- 1年に1回は、「安全チェックシート」(当社ホームページからダウンロードできます)に基づき自主点検してください。3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。点検せずに長時間使い続けると、まれに発煙、発火、感電などに至るおそれがあります。

お手入れ

- 器具のお手入れは、乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは、ネルのような柔らかい布に、水やぬるま湯、または1~2%にうすめた中性洗剤(例えば台所洗剤)を浸し、よく絞ってから、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
- 器具やランプを水洗いしたり、金属部分をクレンザーやたわしで磨かないでください。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤、アルカリ、弱酸性、塩素系洗剤では拭かないでください。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理を依頼される時は 出張修理

- 1 異常があるときは使用をやめてください。
- 2 お買いあげの販売店(工事店)に次のことをご知らせください。

- 品名：直管LED照明器具
- 形名：(器具銘板に記載の形名)
- お買いあげ日(年月日) ● 故障の状態(具体的に)
- ご住所(付近の目印も合わせてお知らせください)
- お名前 ● 電話番号 ● ご訪問希望日

便利メモ お買いあげの際に記入されると便利です。

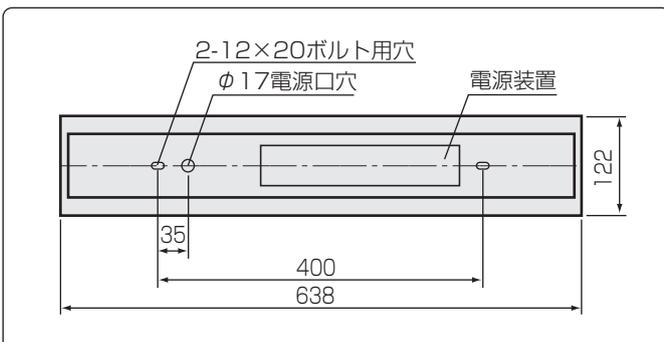
販売店名 _____
電話 () _____
お買いあげ日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

修理料金のしくみ

- 修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

器具背面図



保証について

- 保証期間…設置完了日(引渡し日)より1年間です。保証書が必要な場合は販売店(工事店)までお申し出ください。

保証の免責事項

- 免責事項につきましては、保証書、またはカタログをご参照ください。

補修用性能部品の保有期間

- 当社はLED照明の補修用性能部品を製品の製造打切後、6年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

仕様

形名	DL-TF2143
電源電圧	AC100~242V
消費電流	0.14~0.06A
消費電力	14W
質量	1.5kg
周波数	50/60Hz

■シャープサポートページ

シャープ お問い合わせ

<http://www.sharp.co.jp/support/>

シャープ株式会社

本 社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
電子デバイス事業本部 〒721-8522 広島県福山市大門町旭1番地